

## 2. 特定小売事業施設

### ① 旭川市との包括連携協定や交通対策関係者など行政機関との連携【イオンモール旭川駅前】

イオンモール旭川駅前	
○ 所在地	旭川市宮下通7丁目1番地ほか
○ 開店日	平成27年3月27日
○ 営業時間	イオン旭川駅前店/8:00～22:00、その他の売場/9:00～21:00 ※一部営業時間が異なる店舗あり
○ 敷地面積	28,300 m <sup>2</sup> (内、高架下約9,800 m <sup>2</sup> )
○ 店舗面積	18,188 m <sup>2</sup>
○ 延床面積	47,200 m <sup>2</sup> (施設全体約76,700 m <sup>2</sup> )
○ 設置者	北海道ジェイ・アール都市開発(株)
○ 主要店舗	イオン北海道(株)
○ 商業団体等への加入状況	旭川商工会議所、旭川平和通商店街振興組合
○ URL	http://asahikawaekimae-aeonmall.com/

#### 行政機関との連携のポイント

「イオンモール旭川駅前」は、開店するまでの地域関係者からの要望や意見交換の内容を、旭川市との包括連携協定に盛り込むとともに、開店後も旭川市との積極的な連携を継続している先進的な取組です。

また、北海道開発局や道などの道路管理者、交通管理者などとの連携により、交通渋滞等の発生を未然防止など、行政機関と連携しながら開店に向けた対策を講じた事例です。

#### 旭川市と「イオン(株)」の「包括連携協定」の締結

市では「イオンモール旭川駅前」の出店にあたり、「イオンモール(株)」やJR北海道や旭川商工会議所、旭川平和通商店街振興組合などと要望書を提出するとともに、「イオンモール(株)」との意見交換会や協議を重ねてきました。

旭川市では、それまでの要望内容や意見交換等内容の実効性を確保し、中心市街地をはじめとした地域の活性化や市民サービスの向上を図るため、「イオン(株)」と平成27年1月に「包括連携協定」を締結しました。

連携協定の目的は、旭川市と「イオン(株)」が相互に連携しながら、双方の資源を有効に活用した協働による活動を推進することにより、一層の地域活性化及び市民サービスの向上を図ることです。

「イオン(株)」は、連携協定の取組の第一弾として、平成27年3月に、ご当地マネー「あさひかわWAON」を発行し、表面には日本最北の動物園「旭山動物園」の人気者「ホッキョクグマ」がデザインされました。「あさひかわWAON」は、全国のWAON加盟店でカードを使って支払われた金額の一部を、旭山動物園の魅力向上と中心市街地のにぎ

わい創出による地域経済の活性化のための取組に寄付するものです。

平成27年3月、「イオンモール(株)」にとって初の駅直結モールとなる「イオンモール旭川駅前」が開店、「イオン北海道(株)」も同モールの核店舗となる「イオン旭川駅前店」をオープンさせました。

年月	経緯等
平成24年10月	JR旭川駅直結複合ビルの計画に係る要望書(北海道旅客鉄道(株)←旭川市・旭川商工会議所)
平成24年11月	JR旭川駅直結複合ビルの計画に係る要望書(イオンモール(株)←旭川市・旭川商工会議所)
平成25年6月	JR旭川駅直結複合ビルの計画に係る要望書(北海道旅客鉄道(株)←旭川市・旭川商工会議所・旭川平和通商店街振興組合)
平成25年7月	(仮称)イオンモールJR旭川出店に係る北海道地域商業の活性化に関する条例に基づく「特定小売事業施設新設届出書」「地域貢献活動計画書」の届出・提出(受理:北海道)
平成25年7月	JR旭川駅直結複合ビルの計画に係る要望書(イオンモール(株)←旭川市・旭川商工会議所・旭川平和通商店街振興組合)
平成25年8月	アンケート調査「JR旭川駅直結複合ビルの計画に係る意識調査(中心市街地の商業者対象)」「旭川駅周辺を含む中心市街地に関する市民意識調査(市民対象)」を実施
平成25年8月	(仮称)イオンモールJR旭川出店に係る北海道地域商業の活性化に関する条例に基づく「特定小売事業施設新設届出書」「地域貢献活動計画書」に対する意見の提出(旭川市)
平成25年10月	中心市街地商店街意見交換会(市内中心部4商店街振興組合の主催)
平成25年10月	(仮称)イオンモールJR旭川出店に係る商店街関係者とイオンモール(株)との協議(市中心部3商店街振興組合ほか出席)
平成26年5月	(仮称)イオンモールJR旭川に係る大規模小売店舗立地法に基づく、新設の届出の告示(北海道)
平成26年9月	(仮称)イオンモールJR旭川に係る大規模小売店舗立地法に基づく、新設の届出に対する意見の提出(旭川市)
平成27年1月	旭川市とイオン(株)との包括連携協定の締結
平成27年3月	ご当地マネー「あさひかわWAON」の発行開始
平成27年3月	「イオンモール旭川駅前」開店

### 「中心市街地交通対策検討会議」の開催

北海道開発局では、「イオンモール旭川駅前」のオープン時に懸念される交通渋滞等の発生を未然に防ぎ、市民生活の利便性を確保するため、旭川開発建設部が設置している「旭川都市圏道路交通連携会議」の枠組みを基に、より幅広い視点からの具体的な協議・検討を行うため、「中心市街地交通対策検討会議」を平成26年11月から開店後の平成27年5月まで、合計5回の会議を開催しました。

グランドオープンの平成27年3月27日には、検討会議の構成機関が連携して対策を講じたことから、駅前の大規模な商業施設の開店時に懸念される大きな渋滞や混乱は発生しませんでした。

「イオンモール(株)」にとって、国・道・市等の行政機関と連携することで、民間企業単独では困難な対策を講じることは、良い経験になりました。

### ご当地電子マネー「あさひかわWAON」の利用で旭川市に寄付

旭川市と「イオン(株)」の「連携協定」締結による協働事業の一環として、イオンのご当地マネー「あさひかわWAON」をイオン各店舗やWAON加盟店で利用すると、利用金額の0.1%を旭川市に寄付する仕組みです。

「イオン北海道(株)」と「マックスバリュ北海道」は、「あさひかわWAON」の利用で集まった約213万円を、平成28年5月、旭川市長に贈呈しました。

なお、「あさひかわWAON」の平成28年3月末の発行枚数は約3万7千枚で、道内の約3,400か所で使えるものです。

#### 北海道内のご当地WAONの実績

カード種類	自治体	発行開始	発行枚数	H27年度寄付額
ほっかいどう遺産 WAON	北海道	H23. 7. 28	194, 774	14, 349, 557
創造都市さっぽろ WAON	札幌市	H26. 3. 1	57, 253	4, 527, 036
はこだて WAON	函館市	H26. 10. 9	28, 556	1, 455, 013
あさひかわ WAON	旭川市	H27. 3. 5	36, 792	2, 127, 521
とまチョップ WAON	苫小牧市	H28. 8. 2	—	—

### 「あさひかわWAON」の寄付を旭川市が活用

旭川市では、「あさひかわWAON」の寄付の趣旨を踏まえ、中心市街地のにぎわい創出を目的とした「旭川市まちなか活性化事業基金」と、旭山動物園の魅力向上を目的とした「旭川市旭山動物

園施設整備基金」の2つの基金にそれぞれ寄付額の1/2ずつを積み立て活用しています。

「旭川市まちなか活性化事業基金」は、平成28年6月25日、26日に開催された「買い物公園まつり・第15回大道芸人フェスティバル in あさひかわ 2016」に、「旭川市旭山動物園施設整備基金」は旭山動物園の施設整備や動物購入に活用されています。

#### ご当地WAONによる寄付金活用方法

ご当地WAON	活用方法
ほっかいどう遺産 WAON	「NPO 法人北海道遺産協議会」に寄付され、北海道各地にある宝物を次世代に引き継いでいく活動に活用。
創造都市さっぽろ WAON	札幌市の文化芸術振興に活用。
はこだて WAON	函館市の子育て支援事業に活用。
あさひかわ WAON	旭山動物園の魅力向上・中心市街地のにぎわい創出による地域経済の活性化に活用。
とまチョップ WAON	苫小牧市地方創生事業に活用。

「イオン(株)」では「あさひかわWAON」を発行後1年が経過し、市民に広がりつつあることから、今後とも「あさひかわWAON」のICチップを活用した地域貢献に関する取組に力を入れ、地域と連携したポイント事業等の実施に取り組むこととしています。

### 災害時における連携

核テナントである「イオン北海道(株)」は、平成18年に旭川市と「災害時における消費生活の安定及び応急生活物資の供給等に関する協定」を締結しており、災害発生時における物資の提供等についても貢献しています。

また、平成28年8月の台風第10号をはじめとした北海道の各地に大雨等の被害があった際にも、協定に基づき、被害の大きかった芽室町からの要請により、「イオン北海道(株)」からパン、おにぎりなどの食料品の迅速な提供を行いました。

### 今後について

旭川市との包括連携協定や災害時の協定、国や道など交通関係者による協議組織など、今後とも地域の関係者の連携を重視した積極的な取組を行うこととしています。